

Fresco Giclee

EPSON PX/MX/SC

Canon PRO

シリーズ対応

フレスコジクレー

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本説明書に記載されている注意事項、およびプリンタ本体の取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。

※フレスコジクレーはプリンタメーカー純正品ではありません。非純正品のご使用に起因してプリンタに不具合が生じた場合は、無償保証期間内であっても有償対応となることをご承知おきください。

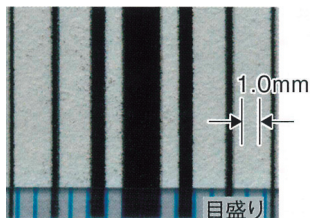
標準印刷手順

1. 気密パックからの取り出し

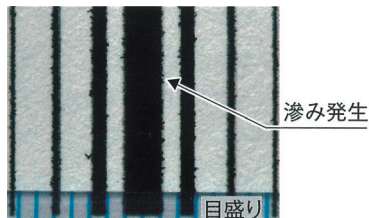


- 一枚ずつ取り出し、残ったFGはその都度ファスナーを閉じてください。
- FGの全ての取扱い作業は、綿製の手袋を使用してください。

取り出した直後に印刷



取り出して4時間後に印刷 (20°C×90%)



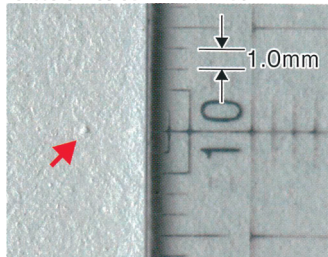
- 漆喰は、空气中に放置すると空气中のCO₂と反応し、印刷性が徐々に低下します。印刷条件や温度・湿度により、印刷性が低下する時間が変わるため、早めに印刷してください。

2. 漆喰粉の払い

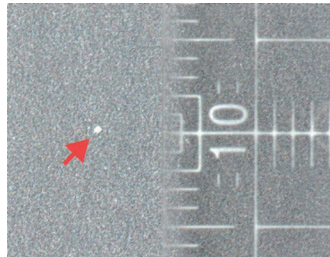


- 印刷面に漆喰粉が付着している場合があります。漆喰粉は白抜けの原因になりますので、印刷前には必ず柔らかい刷毛（製図用など）で漆喰粉を払ってください。

印刷面に付着した漆喰粉



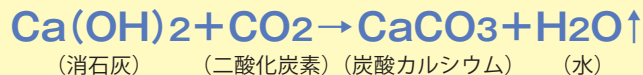
白抜け(漆喰粉を払わずにグレーで印刷)



フレスコジクレーの特徴

- フレスコジクレー（以下、FGと表記）の印刷層は未硬化の漆喰です。漆喰面へ顔料系のインクジェットプリンタで印刷した後、未硬化の漆喰が空气中のCO₂と反応して硬化します。その際、顔料を漆喰の硬化物が包含するため、紫外線などから顔料が保護され、優れた色材保存性を発揮します（フレスコ画と同じ原理です）。

漆喰の硬化反応



- 印刷後、顔料が浸透した未硬化の漆喰はゆっくりと空气中のCO₂と反応し、約1週間で顔料粒子を取り囲む形でCaCO₃(炭酸カルシウム)層を形成します。

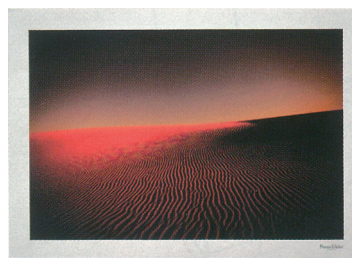
3. 作品のプリント



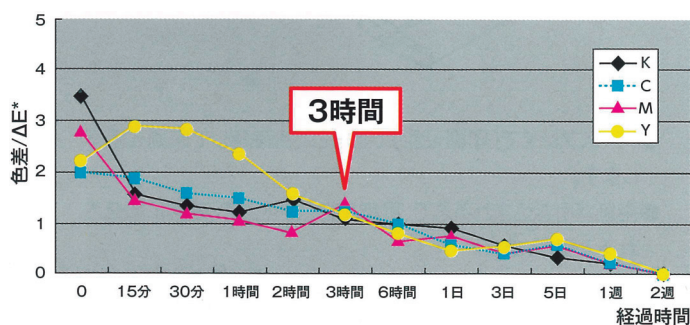
- 黒インクは「マットブラック」をお使いください。
- プリンタドライバーの用紙種類は、「Ultra Smooth Fine Art Paper (エプソン)」・「ファインアート紙(キヤノン)」をお使いください。
- プリンタへセットする前に、裏面に記載の『反りのチェックと修正』をお願いします。

- プリンタへのセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書を参照し用紙ガイドに正しくセットし、手を添えて給紙ください。
- 印刷後に排紙されたFGは、重ならないように一枚ずつプリンタトレイから取り除いてください。

4. 印刷後の色変化と作品の仕上がり確認



- 印刷後、インクの色変化は、3時間程度で安定領域に近づきます。色が安定するまでには、1週間程度かかることがあります（下図は代表的測定事例）。



5. 作品保管



- 作品を額装せずに保管する場合は、印刷翌日まで自然乾燥させた後、同梱の保管バック（OPP製）に入れてください。

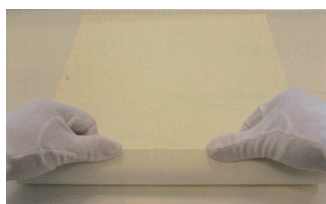
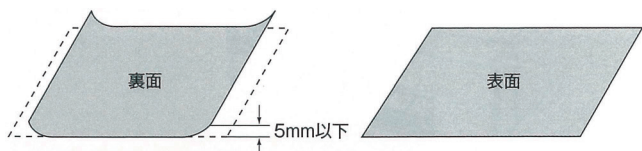
フレスコジクレー取扱い上のご注意

印刷後、残ったFGの保管について

- FGは、印刷面が未硬化の漆喰であるため、開放状態で放置すると徐々に空気中のCO₂と反応して炭酸カルシウムへ変化します。印刷前に印刷面が炭酸カルシウムに変化した場合、印刷特性が悪くなる場合があります。
- FGは、気密パックから一枚ずつ取り出し、早めに印刷してください。
- 残ったFGは、その都度気密パックのファスナーを閉じて保管してください。

反りのチェックと修正

- ・印刷面を上にしたとき反りが無いこと(端が浮かない平らな状態)
- ・印刷面を下にしたときには反りが端部で5mm以下であること



上記に当てはまらない場合には、プリンタにFGが詰まったり、印刷面に傷が付くことがありますので、FGの両端を適度に逆側へ折り返して平らにしてください。その際、漆喰面に割れが発生しないように、上

図のように両手で均等に折り返してください。

- FGは、印刷層が未硬化の漆喰のため、紙粉(漆喰の粉)が出やすい傾向があります。白抜きを避けるため、必ず印刷直前に、製図用の柔らかい刷毛などで紙粉を取り除いてからプリンタにセットしてください。

印刷時のご注意

- FGは、湿度の高い条件下では反りが発生する場合があります。多湿の環境(相対湿度60%以上)でのご使用は避けてください。
- 印刷前および印刷後、共に印刷面を擦らないでください。
- プリンタへのセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書を参照し用紙ガイドに正しくセットし、手を添えて給紙ください。
- プリント後に排紙されたFGは、重ならないように一枚ずつプリンタトレイから取り除いてください。
- 印刷面は漆喰のため、強い力を掛けると折れてしまいます。プリンタへのセット時など取扱いには注意してください。
- 印刷パターンによっては印刷ムラが発生する場合があります。
- 本製品は自然素材のため、原材料に起因する不純物が混入している場合や、表面テクスチャーのムラが発生する場合があります。
- 印刷途中にインク交換等で一時停止してから印刷再開した場合、横スジ状のムラが目立つ場合があります。

FGの取扱いについて

- FGの取扱い時は、印刷面に汚れや傷をつけないように、また手荒れを防ぐために、必ず綿製の手袋を使用してください。印刷面は未硬化の漆喰のため、アルカリ性です。
- FGが梱包されていた気密パックなどは、保管時に使用しますので破棄しないでください。

プリンタの設定について

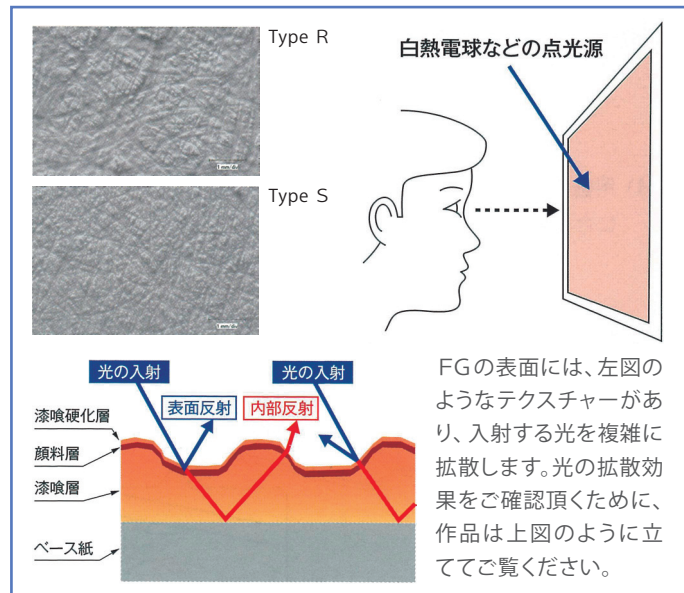
- プリンタドライバーの用紙種類は
エプソン：「Ultra Smooth Fine Art Paper」
キヤノン：「ファインアート紙」
をお使いください。
- 適応プリンタは、エプソン水性顔料インクジェット(PXシリーズ・MCシリーズ・SCシリーズ 他)・キヤノン水性顔料インクジェット(PROシリーズ) 給紙方法は各プリンタ本体の取扱説明書の用紙セット方法を参照ください。

- FGは、印刷条件によって滲みが発生する場合があります。その場合はインク濃度を下げるなどの調整を行い、滲みを回避してください。
- 黒インクは[マットブラック]をお使いください。

印刷したFGの取扱いと展示について

- 印刷直後は、インクの水分により印刷前と比べて柔らかくなる場合がありますので、折れないように注意してください。
- 印刷直後は、インクが乾燥していません。印刷面に触れることのないように取り扱ってください。また、インクが乾燥した場合でも、擦るとインクが剥げることがありますので、できるだけ印刷面には触れないようにしてください。特に、Type SはType Rと比べて表面が傷つきやすいので、印刷後の取扱いには十分注意してください。
- 印刷後のFGは24時間以上乾燥させてください。その後、同梱の作品保管パックに入れてください。
- 印刷後、インクの色変化は、3時間程度で安定領域に近づきます。色が完全に安定するまでには、1週間程度かかる場合があります。
- 印刷後、顔料が浸透した未硬化の漆喰はゆっくりと空気中のCO₂と反応し、約1週間で顔料粒子を取り囲む形でCaCO₃(炭酸カルシウム)層を形成します。
- 漆喰はアルカリ性のため、稀に空気中の特定の化学物質と反応して変色する場合があります。
- ガラス無しでの展示の場合、長期的なメンテナンスを考慮し、ホルベイン工業社製の「フィキサチフ<定着液>(スプレータイプ)」による印刷面のコーティングを推奨します。同コーティングは、印刷後、インクが完全に乾燥してから実施してください。
- FGをパネル化して展示や保存をする場合は、アクリル系の接着剤を用いた両面テープをお使いください。マットを使った一般的な額装の場合にも、湿気によって膨れる場合がありますので、額装用の裏打ちシート張りをおすすめします。

作品の見方



FGの表面には、左図のようなテクスチャーがあり、入射する光を複雑に拡散します。光の拡散効果をご確認頂くために、作品は上図のように立ててご覧ください。

製造元

株式会社 トクヤマ

カット紙加工・販売元

株式会社 ハプコ

URL <https://www.hapco.website/>

- 本取扱説明書に記載されている内容は、本製品の適用結果を保証するものではありません。
- 本取扱説明書に記載されている数値は、測定の代表例です。
- フレスコジクレーは、プリンタメーカー純正品ではありません。非純正品のご使用に起因してプリンタに不具合が生じた場合は、無償保証期間内であっても有償対応となることをご承知おきください。